（様式3）

目標達成計画

事業所名　グループホームまつみ

作成日：２０１９年　３月　２５日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議に、ご利用者家族代表は毎回参加されているが、ご利用者本人が参加していない。本人が参加して意見交換ができると、利用者主体の事業運営により資するのではないか。	運営推進会議にご利用者本人が参加し、意見を発表する機会がある。	ご利用者ご家族へ参加をお願いする際に、ご利用者本人にも参加をお願いする。 会議の内容、趣旨について十分に説明し理解を得られるよう努める。発言ができるよう環境を整えたり職員が付き添う等の配慮を行う。	1ヶ月
2	26	介護計画作成の一連の流れの中に計画作成担当以外の職員の参画が少ない。その為、日常の介護計画の共有が曖昧になっている。また、計画内容では職員が主語になっている表現が多い。利用者が計画を見て意欲を高められるような内容・表現になっていない。	計画作成担当職員以外の介護職員も、ユニット利用者の介護計画を把握し、計画内容に基づいたケアを提供できる。 介護計画の内容・表現について、利用者が主語になっており、生活に主体的に関わることができる計画内容になっている。	計画作成過程において、計画作成担当職員だけでなく介護職員もアセスメントを行い、ニーズ設定やサービス内容、目標設定に関わる。 作成された介護計画について、管理者やユニット職員に供覧し、助言を得る。	3ヶ月
3	40	食材をチルドに変更したことで職員の調理負担を軽減することができたが、そのメリットが生かし切れていない。食事時に職員がゆとりを持ってご利用者と会話を楽しんだり、調理を楽しめる機会を持つなど「食事を楽しむ工夫」について、改善の余地がある。	味付け、盛り付け、配膳、後片付けの一連の作業が、ご利用者主体となって行われている。 食事の時間が、ただ食べるだけの時間になっておらず、楽しめる時間となっている。	味付け、盛り付け、配膳、後片付け等の作業は、その作業が可能なご利用者が行うこととし、職員は安全管理と補助に徹する。 一緒に食事をする職員は、会話をしながら楽しく食事ができるよう支援する。その他の職員も一緒にテーブルについてお茶を飲むなど、食事の時間を共有する。 チルド食材だけでなく、畑で採れた野菜なども献立に加え、ご利用者と一緒に調理する。	2ヶ月